

ダム管理業務について

ダム管理とは、洪水時の管理である高水管理、通常時の管理である低水管理、ダム管理機能の維持のための施設管理の大きく分けて3つから構成されています。

高水管理

高水管理とは洪水時のデータ収集・点検・ダム下流巡視・通報・運用・操作を行うことをいいます。

気象・水象データ収集

↓

放流設備等の点検

↓

警報及び下流巡視(関係機関への通知)

↓

洪水調節

↓

洪水調節の終了

低水管理

流水の正常な機能の維持・水道・工業用水等を保つための供給を行います。

- 下流基準地点の流量データの収集
- 流水の正常な機能の維持のため必要な補給
- 放流操作

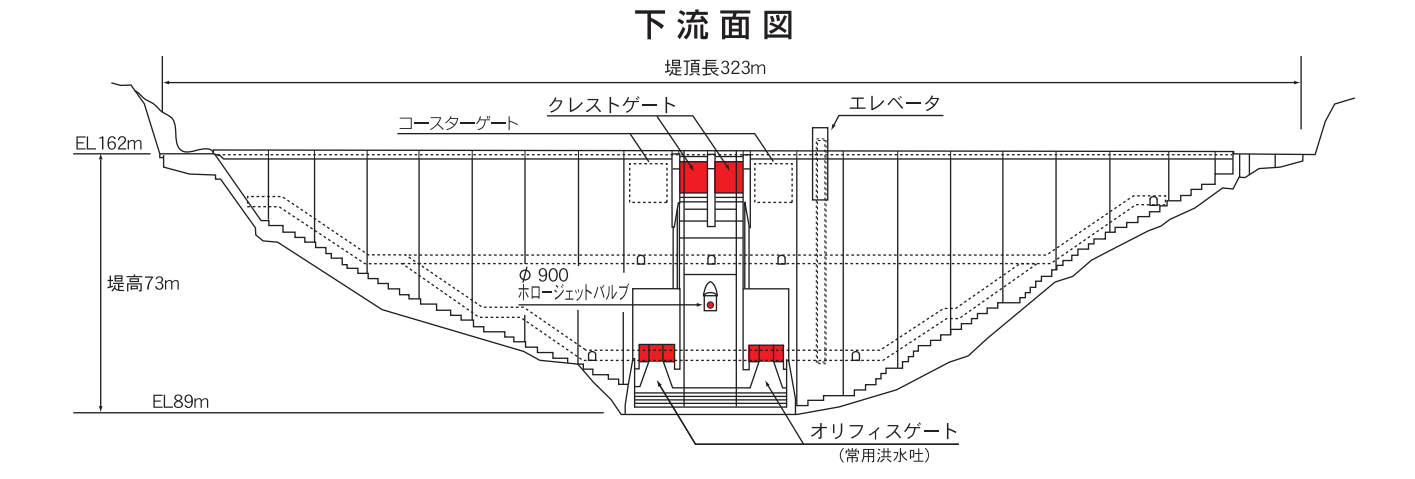
施設管理

高水管理、低水管理をする上での施設の管理、その他関連施設の管理を行います。

- 各施設の点検、整備
- データの検証・整理・報告
- 堤体の挙動観測
- 貯水池周辺の巡視
- 環境整備
- 維持修繕の工事
- 水質等の保全・調査
- 管理事務
- 対外業務、他

低水管理(歴代上位5件年代譜)

洪水調節年	原因	総雨量	総調節量
546.8.30	台風23号	287mm	5,402千m ³
549.7.24	低気圧	329mm	7,523千m ³
557.7.31	台風10号	651mm	9,991千m ³
H6.9.29	台風26号	434mm	4,755千m ³
H16.9.29	台風21号	453mm	6,006千m ³



ダム諸元

河川名	一級河川雲出川水系八手俣川	堤頂長	323m	総貯水容量	23,300,000m ³
位置	三重県津市美杉町八手俣地内	堤体積	331,000m ³	有効貯水容量	19,700,000m ³
名称	君ヶ野ダム	非越流部標高	EL.162.00m	常時満水位	EL.145.00m
型式	直線重力式越流型コンクリートダム	集水面積	80km ²	サーチャージ水位	EL.160.00m
堤高	73m	湛水面積	0.8km ² (EL160.0)	設計洪水水位	EL.160.00m

君ヶ野ダム年表

昭和28年	雲出川改修計画検討開始		
34年	雲出川治水計画の一環として多目的ダム(君ヶ野ダム)建設計画予備調査開始		
38年	洪水調節を主目的とした多目的ダムとして国庫補助による実施調査開始		
40年 4月	雲出川開発建設事務所設置	47年 3月24日	ダム竣工式
41年 1月31日	漁業補償妥結	48年 11月10日	「君ヶ野ダム関係地区禁止地域指定」の告示
41年 7月	補償対策協議会・水没対策協議会設立	51年 4月	ダム周辺環境整備事業に着手
42年 4月	個人補償協定調印	52年 11月17日	君ヶ野ダム運営連絡協議会設立
43年 4月	ダム工事企業庁委託	54年 6月10日	「日本桜の会」寄贈、植樹祭開催
43年 7月	本体工事契約	56年 4月30日	愛林祭
43年 10月17日	起工式	61年 10月10日	緑の少年隊奉仕作業植樹(桜の木3,000本)
43年 11月16日	公共補償調印	平成15年 3月30日	君ヶ野ダム30周年記念事業
44年 6月 4日	定礎式		
46年 5月14日	試験湛水開始		



地域とともに

3月

美杉の里・桜マラソン

毎年3月下旬の桜の開花時期に、湖畔の景色を楽しみながら走るマラソン大会が開催され、多くの方が参加されます。

4月

君ヶ野ダム公園桜まつり

4月初旬に、桜の名所として定着した君ヶ野ダム公園において、地域の交流と活性化を目指したイベントが開催されます。イベントでは様々なショーのほか、名物の君ヶ野なべや地域の特産品も販売され、多くの方が訪れます。

随時

君ヶ野ダム見学会

君ヶ野ダムでは、地域の皆様にダムの役割を理解していただくため、施設の見学会を実施しています。見学会では、普段は見る事ができないダムの内部も見学していただくことができます。

ダムカードの配布

君ヶ野ダムでは、君ヶ野ダムの情報が入ったダムカードを配布しています。このカードを求めて、県内外から多くの方が管理事務所を訪れます。

これからも、君ヶ野ダムでは地域の皆様にダムの役割について理解を深めていただくとともに、安全・安心なダム管理に努めてまいります。

三重県 津建設事務所 君ヶ野ダム管理室

三重県 津市 美杉町八手俣95-1
 TEL 059-262-3248
 FAX 059-262-3174
<http://www.pref.mie.lg.jp/TKENSET/HP/dam/>
 メールアドレス kimidam@pref.mie.jp



ドローンによる空撮

三重県

君ヶ野ダムの誕生まで

一級河川雲出川は、奈良県との県境の高見山北部の三峰山(EL1,235m)に源を発し、伊勢湾に注ぐ流域面積550km²、流路延長55kmの一級河川です。流域の山林は戦前戦後無計画に伐採されたため、ひとたび大雨が降ると下流はその都度氾濫してしばしば水害を被りました。



とくに昭和28年、13号台風の時の洪水で下流は大被害を受けたので、この時の出水記録をもとに河川改修を進めていたその矢先、昭和34年の伊勢湾台風がこの地方を襲いました。この時の洪水は前回はさらに大きく上回る記録的なもので、抜本的な治水対策の必要にせまられました。

このため雲出川支川で局ヶ岳(EL1,029m)に源を発し流域面積80km²、流路延長25kmの八手俣川に洪水調節機能をもつダムを造り、下流の旧建設省直轄雲出川改修計画とタイアップしてこの宿命的な水害を防止する計画をたて、併せて濁水期には農業用水、上水道用水、工業用水に濁水補給ができるいわゆる多目的ダムの建設計画が誕生したのです。

君ヶ野ダムの目的(働き)

洪水から地域を守ります。

雲出川では、過去に何度も洪水が発生しています。このため、雲出川との合流点付近で八手俣川をせき止めるダムをつくり、この貯水池を利用して台風や大雨などの水をダムに溜めることで、洪水の発生を軽減し安全で安心な暮らしを確保します。

水道用水を確保します。

津市や松阪市で必要となる生活水を確保し、豊かで潤いあふれた暮らしを支えます。

自然環境の保護・水資源の確保・生活安全度の向上

流水の正常な機能の維持をします。

雲出川から取水している下流の耕地は、用水が不足することがある為、ダムの貯水池に水を溜め置いて、必要に応じ不足量を補給します。

工業用水を確保します。

中勢工業地帯の工業用水として必要な工業用水を確保して補給します。

流水の正常な機能の維持とは
 本来河川が持っている機能(舟運、漁業、観光、堤防防止、河口閉塞の防止、河川管理施設の保護、地下水の維持、動植物の保護、流水の清潔の保持、既得用水等の安定取水)を正常に維持するために、濁水時に於いてもダムから流水の補給を行い、これらの機能の維持を図ります。

洪水調節のしくみ

ダムへ流入する水量が180m³/秒を超えると、超えた水量の29%に相当する量を下流へ流し、残りの71%を貯水池にためこみます。このように、洪水の時、ダム貯留し下流へ流す量を低減させることを洪水調節といいます。

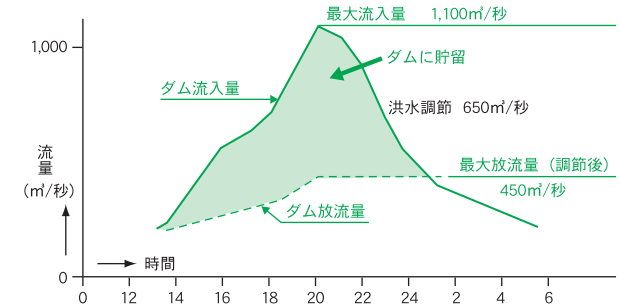
貯水池には、洪水の時に溜めることができる空き容量が用意されていて、この空き容量を洪水調節容量といいます。

君ヶ野ダムの洪水調節容量は15,800,000m³です。

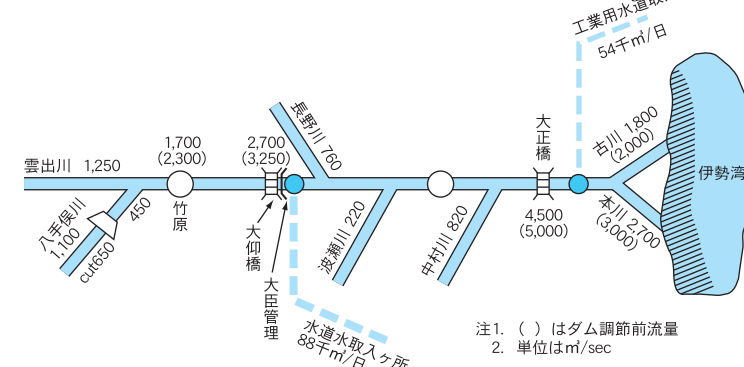
流入量が180m³/秒以下の場合、下流に被害を与えないよう無害放流として、洪水調節せずにそのまま下流へ放流します。

こうして、洪水の時でも中流の大仰橋地点で3,250m³/秒の流量を2,700m³/秒に、下流の大正橋地点で5,000m³/秒の流量を4,500m³/秒に減少させて水害を最小限に食い止めるように洪水調節を行っています。

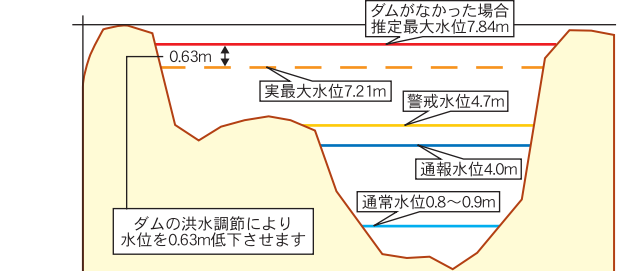
洪水調節計画図



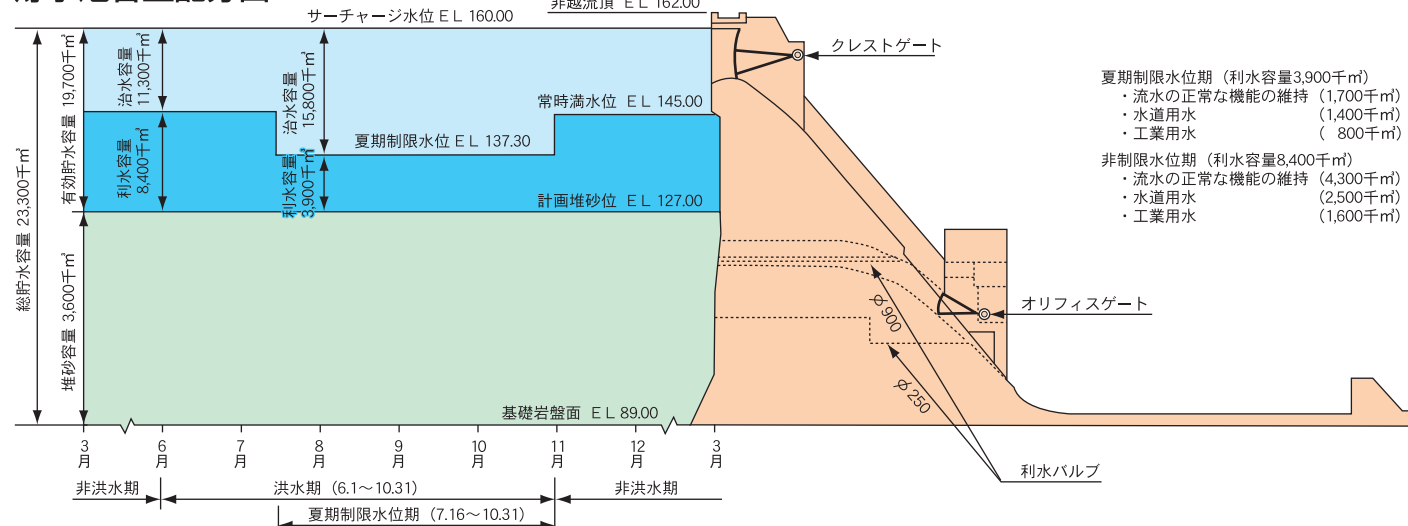
計画高水量配分図



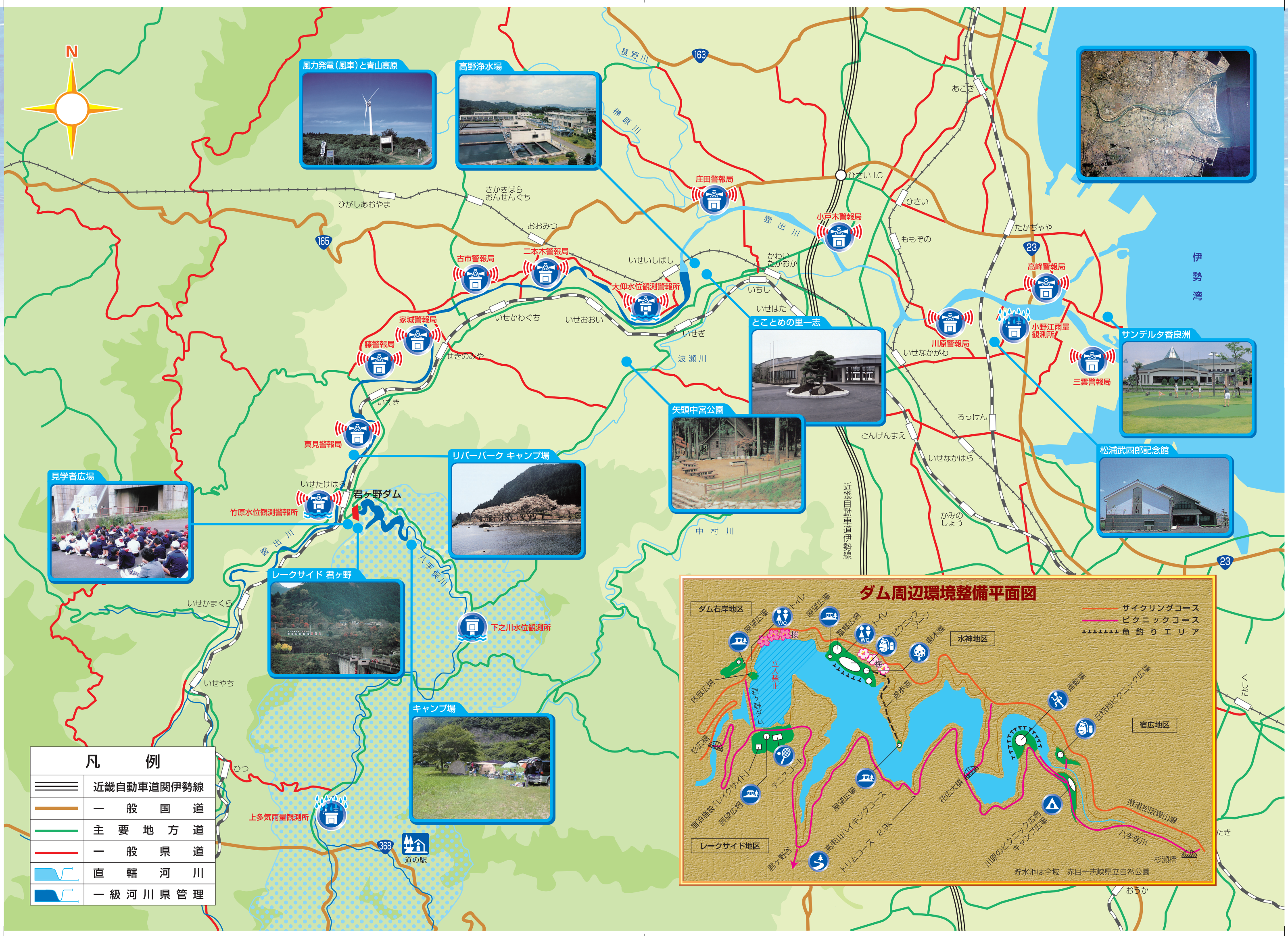
大仰橋地点河川横断面図



貯水池容量配分図



	近畿自動車道関伊勢線
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	直轄河川
	一級河川 県管理



警報設備と水文観測設備

●オリフィスゲートと利水バルブ

両側の建物の中にあるのがオリフィスゲートで洪水調節時に使用される。100年に1回程度発生する規模の洪水までは、すべてこの水門で制御され下流の洪水を緩和する。又、中央から放水中のバルブが直径900mmの利水用ホロージェットバルブで、主に農業用水、水道用水、工業用水の補給用で使用される。

●クレストゲート

クレストゲートはオリフィスゲートだけでは処理できないような異常洪水(100年に1回程度起こる以上の洪水)が発生した場合の非常用の水門である。

●上多気雨量観測所

この雨量観測所は八手俣川流域の中央部にあって降雨量を常に自動観測している。ここで観測されたデータは随時管理事務所にてテレメータシステムにより受信され、水文資料作成のために利用される。

●放流警報局

この局舎は、屋上に設けられているサイレンや、スピーカーにより沿川住民や河川利用者等に、放流開始を知らせ、危害を防止するための放流警報局で、ダム地点から河口までの34.5kmの川筋に12局設置されている。

●下之川水位観測所

この水位観測所は、ダムに流入する八手俣川の水位を自動観測する。ここで観測されたデータは随時テレメータシステムにより管理事務所を受信され、この数値から貯水池への流入量を算定し、これをもとにダム放流量、放流時間の決定の資料に利用される。

●警報板

ダムから下流河川の雲出川の要所に設置してあります。

●きみがの号

ダム湖の水質監視及び巡視点検を行うための船舶です。

●警報車

放流警報実施時に河川に沿って巡視し、河道状況を管理事務所へ連絡するとともに、河道内の人々に危険を知らせ、河川外へ退去していただきます。

主要設備

目的	名称	構造
洪水調節	クレストゲート 放流可能水位 EL 151.00m	ラジアルゲート 高9.77m 幅8.00m
	オリフィスゲート 放流可能水位 EL 118.00m	高圧ラジアルゲート 高3.20m 幅3.20m
貯水池維持	φ900ホロージェットバルブ 10.3m/s (EL 150 m のとき)	ホロージェットバルブ 900mm
低水放流	φ250ホロージェットバルブ 0.48m/s (EL 150 m のとき)	ホロージェットバルブ 250mm
点検・修理	コースターゲート	高圧ローラゲート 高6.00m 幅6.00m